

# 新潟発！災害発生時「食の安心を！」はんぶん米

2010年7月20日

関係各位

有限会社エコ・ライス新潟



中学生100名、地域住民と防災訓練！  
「春陽」米を使い非常用のご飯炊き出し！

猛暑に負けず地域の防災の要の中学生が大奮闘

6年前の新潟豪雨で15名の方が亡くなられた状況や自身の避難所生活、食事制限者、武蔵台小学校で田植えをした「春陽」について説明



## ○武蔵台小 卒業生と再会○

中野区立北中野中学校で、青少年育成協議会主催し地域住民、教師、区役所、消防署に加えて当社が講師として「災害時の初期活動」の訓練を中学生100名と行いました。北中野中学は武蔵台小学校の隣で5年生のときに一緒に田植え・稲刈りをした生徒が多く、「春陽」を田植えした生徒も多かったです。稲刈り以来、久しぶりの再開を果たしました。

最初に新潟中越震災・水害の体験を最近の豪雨被害と併せて説明。100名の中学生と住民が4つの班にわかれ、「避難所設営(トイレ、避難スペース)」「消化訓練」「災害通報・タカ」「地震体験」を体験しました。

協議会会長は「日中、災害が発生したら高校生以上は地域にいないことが多いので中学生の皆の力が必要になる。」と指摘し中学生が地域の防災力の要であることを強調。又、「同じ班になった住民の方の顔を覚えて下さい。いざと言うときに役立ちます。」と学校区で協力する防災の重要性がわかる訓練でした。

自動車の気温計で39度の猛暑中、市役所・消防からの指導もあり、地域にとって大変有意義な訓練に参加をさせて頂きましたことを感謝いたします。



非常用炊飯袋に「春陽」米と水を加え(写真上段)て、金網籠に入れる。その後、災害用の炊き出し大釜で炊飯。



マンホールの上に設置する「簡易トイレ」の設置方法を説明する区役所地域防災課の担当者。避難所最大の問題「トイレ」を知りました。



消防署員の指導で、3人一組で消火器で放水。「火事だ！消火！」と大声を上げて一斉放水。恥ずかしがらずにできました。



毛布と棒2本でその場で作る「タカ」を実演。実際にけが人に見立てた同級生を運んでみる。身の回りのものが役立ちます。



最後は班対抗「バケツリレー」競争。運動部の中学生が多く団結力はgood！接戦を制したチームにはトルカゲーが賞品でした。

昨年から武蔵台小学校でお米作りの講師をしている白藤プロジェクト第4期リーダーの神山絵未さん(3年)も参加。将来、食育教諭を目指す神山さんにとっても大変貴重な体験でした。



【 問合せ先：(有)エコ・ライス新潟 豊永有(トヨナガユキ) 】  
〒954-0181 新潟県長岡市脇川新田町字前島 970-100  
TEL 0258-66-0070 FAX 0258-66-0447  
e-mail [eco-net@nekonet.ne.jp](mailto:eco-net@nekonet.ne.jp)



HP <http://eco-rice.jp/> 幻の白藤 HP <http://www.rice-shirafuji.com>